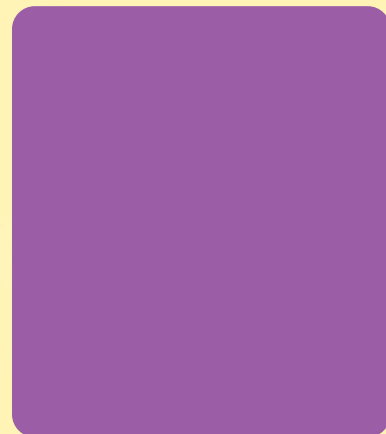
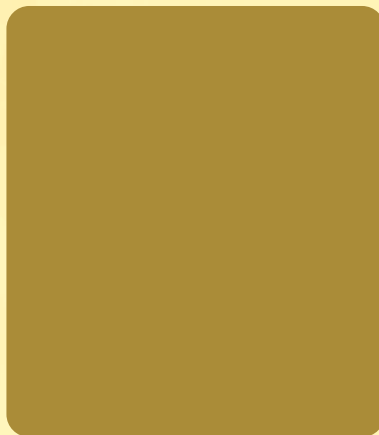
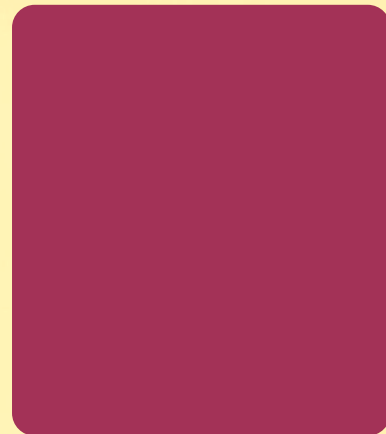


# 国際交流 2016

平成28年国際交流報告書



International Exchange  
MAIZURU 2016

舞鶴市

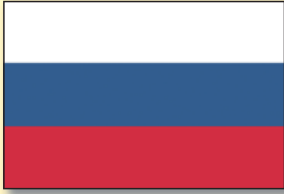
## 目 次

姉妹都市・ナホトカ市の概要	.....	P 1
友好都市・大連市の概要	.....	P 2
姉妹都市・ポーツマス市の概要	.....	P 3
その他の交流がある国・都市	.....	P 4
京都舞鶴港と対岸諸国とを結ぶ国際航路図	.....	P 5
姉妹都市・ナホトカ市との交流	.....	P 6
友好都市・大連市との交流	.....	P 8
姉妹都市・ポーツマス市との交流	.....	P 13
その他の都市との友好交流	.....	P 14
京都舞鶴港関係の貿易・経済交流	.....	P 16
舞鶴へのインバウンド事業	.....	P 19
京都舞鶴港へのクルーズ客船誘致事業	.....	P 21
市民主体の国際交流	.....	P 23
第 1 回日中韓交流卓球大会に参加して		
舞鶴卓球協会 松下 繁	.....	P 26
舞鶴市国際交流員としての 1 年間		
平成 27 年度舞鶴市国際交流員 鄒 悦	.....	P 27
外務省への出向		
舞鶴市みなと振興・国際交流課 板橋 祐介	.....	P 29
インターネットのホームページ紹介	.....	P 32

※記載の氏名については敬称を省略させていただき、職名や組織名等は当時のものとさせていただきます。

### 表紙写真説明

①		②		①ナホトカ市青少年文化交流団。東舞鶴高校の生徒と日本文化を通じた交流を行いました。
③		④		②ドイツスポーツ少年団。日星高校バスケットボール部との練習試合を行いました。
⑤		⑥		③大連市少年使節団。倉梯小学校との交流で書道を披露しました。 ④ナホトカ市代表団が来訪し、姉妹都市提携55周年記念式典を行いました。 ⑤京都産業大学の外国人留学生が来訪。杉山の自然を堪能しました。 ⑥ウズベキスタン日本人抑留資料館館長が引揚記念館を訪問しました。



姉妹都市

# ナホトカ市 (ロシア連邦)

## Nakhodka



### 姉妹都市提携年月日

1961 (昭和36) 年6月21日



### ナホトカ市の概要

ナホトカ市は、ロシア連邦沿海地方の南東部に位置し、人口約15万4千人(2016年1月現在)、面積約325.9km<sup>2</sup>を有する都市です。19世紀半ば過ぎにロシアの軍艦「アメリカ号」が偶然発見したのが都市の起源であり、「ナホトカ」には、ロシア語で「見つけもの」の意味があります。日本との時差は+1時間。

**産業：**舞鶴と同じ天然の良港を有する国際港湾都市で、主な産業は、海上輸送、漁業、石油製品卸、建設業、商業です。また、シベリア鉄道の東端に位置しているため、遠くロシア西部やヨーロッパをも後背地とする重要な物流港です。

**気候：**モンスーン型気候で夏の平均気温は20.6℃、冬の平均気温は-9.3℃、年間平均降水量は860mm。

**その他の姉妹都市：**敦賀市・小樽市(日本)、吉林市(中国)、東海市(韓国)、オークランド市・ベリンガム市(アメリカ)、ブーケット州(タイ)



ナホトカ市庁舎



### ナホトカ市との交流

1956(昭和31)年、日ソ共同宣言の調印により、舞鶴市では引揚者の乗船港としても縁の深いナホトカ市と貿易で友好を深め、日ソ両国の友好強化に寄与しようという機運が高まり、1956(昭和31)年に舞鶴市議会において、ナホトカ市に対する友好決議が行われました。1961(昭和36)年6月、ドゥボフカ・ナホトカ市長を舞鶴市に迎え、日本とソビエト連邦(当時)との間で初めてとなる姉妹都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では「日本海を平和の海に」を合言葉に、スポーツ交流団の相互派遣、少年使節団の交換、通信体育競技会の実施など活発な交流が展開され、2016(平成28)年には、姉妹都市提携55周年を迎えました。



舞鶴市・ナホトカ市友好の碑



ナホトカ港の様子



カザンスキー教会



## 友好都市 大連市 (中国) Dalian

### 友好都市提携年月日

1982 (昭和57) 年5月8日

### 大連市の概要

大連市は中国東北部遼東半島最南端に位置し(緯度は日本の山形県酒田市とほぼ同じ)、東は黄海、西は渤海、南に海を隔てて山東半島を望む港湾工業都市です。人口約593万6千人(2016年3月現在)、面積約12,574km<sup>2</sup>。1899年にロシア人が大連港の建設を開始したのが都市としての始まりです。日本との時差は-1時間。

**産業**：古くから造船・石油化学など重工業の拠点でしたが、改革開放後、東北地方においていち早く市場経済化に取り組みました。90年代からは日系を中心とする外資系製造業の誘致に成功し、近年は海外IT企業の進出も目覚ましく、環境技術の導入にも力を入れています。一方、観光産業における発展も目覚ましく、「アカシア祭り」「国際砂浜文化祭り」「国際マラソン大会」など季節ごとにイベントが開催され、多くの外国人観光客で賑わっています。

**気候**：暖温帯大陸性モンスーン気候で、四季がはっきりしています。夏の平均気温は25℃、冬の平均気温は-4.9℃、年間降水量は550～950mm。

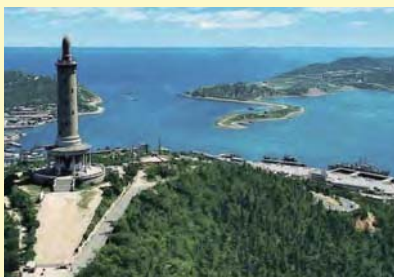
**その他の姉妹都市**：北九州市(日本)、ブレーメン市・ロストック市(ドイツ)、グラスゴー市(イギリス)、ル・アーヴル市(フランス)、オークランド市(アメリカ)、ウラジオストク市(ロシア)、ポワントノワール市(コンゴ共和国)



大連市人民政府庁舎

### 大連市との交流

舞鶴市では、地理的な条件や引き揚げ等の歴史的な経過から、大連市(当時旅大市)との友好交流を望む市民の声が強くありました。1978(昭和53)年の日中平和友好条約の締結により、舞鶴市としても友好都市提携実現に向け、関係機関への働きかけや経済・貿易関係の交流を積極的に展開した結果、1982(昭和57)年5月、舞鶴市において崔栄漢・大連市長(当時)を迎え、友好都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では各種訪問団の相互派遣、少年使節団の交換、友好の船の派遣など活発な交流が展開され、2017(平成29)年には、友好都市提携35周年を迎えます。



白玉山からの旅順港の眺め



中山広場



大連の海鮮料理



## 姉妹都市 ポーツマス市 (英国) Portsmouth

### 姉妹都市提携年月日

1998 (平成10) 年5月15日・27日

### ポーツマス市の概要

ポーツマス市は英国南部のイギリス海峡に面した港湾観光都市です。人口約20万9千人(2015年現在)、面積約40km<sup>2</sup>。ロンドンの南西部110kmに位置し、1927年に市制を施行しましたが、ポーツマス市の起源は1194年にリチャード1世の憲章にはじまり、800年余の古い歴史を持ちます。日本との時差は-9時間(サマータイム期間は-8時間)。



ポーツマス・ギルドホール

**産業**：英国海軍の主要基地として発展してきた町で、現在、海軍基地はポーツマス・ヒストリック・ドックヤードと呼ばれる観光施設として利用され、当時の軍艦等が保存されています。多くの博物館や観光施設を有する、英国のみならずヨーロッパでも有数のリゾート地として知られています。近年では、港湾地区の再開発が進められており、複合レジャー施設「ガンワーフ キーズ」が注目を集めています。

**気候**：北部を丘陵地帯に守られ、イギリス海峡の湾流の影響もあり、温暖な気候に恵まれています。平均気温は夏で18～25℃、冬で5～12℃ほどです。

**その他の姉妹都市**：カーン市・トゥーロン市(フランス)、デュースブルク市(ドイツ)、ハイファ市(イスラエル)、レイクウッド市、ポーツマス3市(アメリカ・ロードアイランド州、ニューハンプシャー州、バージニア州)、シドニー市(オーストラリア)

### ポーツマス市との交流

舞鶴市とポーツマス市は、平成5年赤れんが博物館の開館時にポーツマス市かられんがが贈られたことをきっかけに交流が始まりました。その後、小中学生の手紙の交換やボーイスカウトの交流など市民レベルでの交流が進み、平成10年5月に舞鶴市・ポーツマス市の市長が両市を相互訪問し、姉妹都市提携が実現しました。



スピナーカーター



ビクトリー号



ガンワーフ キーズ

## その他の交流がある国・都市



**浦項市** (大韓民国)  
Pohang



### 浦項市の概要

浦項市は、韓国・慶尚北道の東海岸に位置する、人口約52万人、市の面積約1,129km<sup>2</sup>の国際港湾都市です。古くから水



韓国で一番最初に日が昇る地として有名な「ホミゴッ」

産業で栄えたまちでしたが、1970年代初頭に「浦項製鉄所 (POSCO)」が誕生して以来、韓国有数の工業都市として発展してきました。浦項港では、鉄鋼関係の輸出入が大半を占めます。2014年にKTX (韓国版新幹線) が開通し、首都ソウルから約2時間半でアクセスできるようになりました。



### 浦項市との交流

京都舞鶴港は2011 (平成23) 年11月に、国から3つの機能 (国際海上コンテナ、国際フェリー・RORO船、外航クルーズ) で「日本海側拠点港」の選定を受けました。この3つの機能の内、「国際フェリー・RORO船」については、2025年までに韓国との国際フェリー航路開設を目指す計画であることから、2012年には「経済交流などの推進に関する協定書」を締結し、現在、舞鶴市では浦項市と中学生の相互訪問などの交流を進めています。



**ウズベキスタン共和国**  
(首都：タシケント市)  
Republic of Uzbekistan



### ウズベキスタン共和国の概要

ウズベキスタンは日本からおよそ6,400km離れた中央アジアに位置しており、面積は日本のおよそ1.2倍の44万7,400km<sup>2</sup>、人口は約3,000万人。1991年にソビエト連邦 (以降、ソ連) 崩壊に伴い独立した国で、世界に2つしかない「二重内陸国」で、海へ出るためには国を2つ越える必要があります。

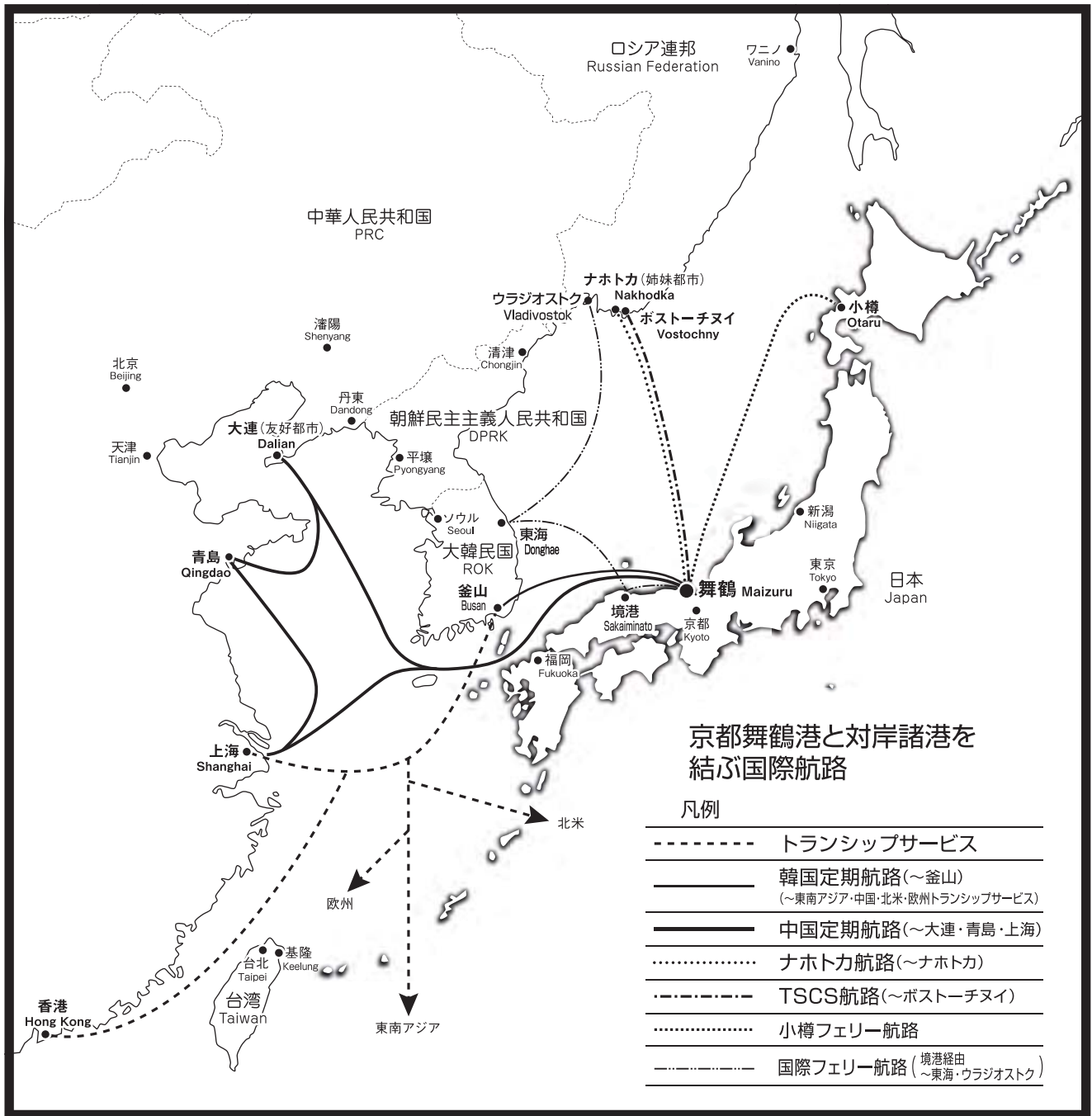


### ウズベキスタン共和国との交流

2016年1月、タシケント市内の日本人抑留者資料館のジャリル・スルタノフ館長が舞鶴市を訪問したことがきっかけでウズベキスタンとの交流が始まりました。現在舞鶴市は、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるウズベキスタンのホストタウンに登録されています。東京オリンピック・パラリンピック選手団の直前合宿誘致を契機にウズベキスタンと文化・スポーツ・経済など様々な面で交流を進め、大会終了後も「オリンピックレガシー」として残るつながりを作りたいと考えています。



# 京都舞鶴港と対岸諸国を結ぶ国際航路図



## 姉妹都市・ナホトカ市との交流

5月1日(日)

### 第53回 舞鶴・ナホトカ陸上競技通信 競技会が開催

1964(昭和39)年から続いている大会で、舞鶴市とナホトカ市の陸上競技において、毎年、各種目の記録を交換し、勝敗を決定しています。100m～5,000mの各トラック競技、リレー、走り幅跳び、砲丸投げ、槍投げなど12種目の記録の交換が行われました。

8月4日(木)～8日(月)

### 舞鶴市・ナホトカ市姉妹都市提携55周年記念事業 ナホトカ市青少年文化交流団 「ファーストライン」が来訪

ナホトカ市との姉妹都市提携55周年記念事業の一環として、ナホトカ市の伝統あるダンススクール「ファーストライン」の生徒等で構成されるナホトカ市青少年文化交流団14名が来訪。

市内での文化体験や交流活動に参加したほか、ダンスコンサート「ロシアのおみやげ」を開催し、ロシアの伝統舞踊を披露するとともに、市内のダンススクールの生徒たちとのダンス競演を行うなど、市民との交流の輪を広げました。

#### 《来訪者(14名)》

市文化局「青少年の家」局長 ワルセゴワ・アレフチーナ

「ファースト・ライン」代表 グーロワ・リュドミーラ

振付師 イサンバエワ・リリヤ

団員 バラービナ・マリーナ

団員 ボーイノワ・ルイーザ

団員 ゴーリチェワ・イリーナ

団員 エリエツカヤ・クリスティーナ

団員 クリメントワ・ポリーナ

団員 レスナーヤ・ヴィタリーナ

団員 ニキーチナ・アリョーナ

団員 プレシコワ・アリーナ

団員 ポトラシコワ・ソフィア

団員 ロテルメール・ポリーナ

団員 (ソリスト) ラリオノワ・ポリーナ

#### 《日 程》

8月4日(木) 舞鶴市着

8月5日(金) 舞鶴市表敬訪問、東舞鶴高校訪問及び文化交流会、歓迎市民交流会

8月6日(土) 市内視察、日本文化体験

8月7日(日) ダンスコンサート 於 総合文化会館小ホール

8月8日(月) 京都市へ移動、京都市内観光

8月9日(火) 京都市発、成田空港経由、ウラジオストク着



▲東舞鶴高等学校では初めての書道に挑戦しました



▲ダンスコンサートではロシアの伝統舞踊を舞鶴市民の皆さんに披露しました

8月21日(日)～25日(木)

### 舞鶴引揚記念館関係者がナホトカ市・ ウラジオストク市を訪問

舞鶴引揚記念館所蔵資料のユネスコ世界記憶遺産登録を受け、シベリア抑留や引き揚げに関する調査として、舞鶴市ユネスコ世界記憶遺産有識者会議会長ほか4名がナホトカ市を訪問。

ナホトカ市立博物館と国立アルセーニエフ記念博物館を訪問したほか、現地の研究者とともに日本人抑留者が建設したとされる施設を視察しました。

#### 《訪問者(4名)》

舞鶴市ユネスコ世界記憶遺産有識者会議会長 黒沢 文貴

舞鶴市ユネスコ世界記憶遺産有識者会議副会長 栗原 祐司



舞鶴引揚記念館館長  
舞鶴市産業創造室長

山下 美晴  
新宮 敦雄

《日 程》

- 8月21日(日) 舞鶴発、ウラジオストク着
- 8月22日(月) ナホトカ市役所、ナホトカ市立博物館訪問
- 8月23日(火) ナホトカ市内視察、ウラジオストクへ移動
- 8月24日(水) アルセーニエフ記念博物館訪問
- 8月25日(木) ウラジオストク発、舞鶴着

10月23日(日)～26日(水)  
ナホトカ市代表団が来訪

ナホトカ市との姉妹都市提携55周年記念事業として、アンドレイ・ゴレーロフ・ナホトカ市長ほか4名が来訪。

代表団一行は記念式典に出席したほか、市内企業や京都舞鶴港等を視察するとともに、舞鶴市表敬訪問では、舞鶴市長をはじめ、両市の関係者が一堂に会して、両市の相互理解の促進、経済交流の推進等、今後の交流について協議を行いました。

《来訪者(5名)》

ナホトカ市長	アンドレイ・ゴレーロフ
ナホトカ市教育部長	ナタリヤ・ボンダレンコ
ナホトカ市文化部長	タチアナ・オリシェフスカヤ
ナホトカ市国際交流課長	イリーナ・シェルピナ
インツーリスト・ナホトカ(株)社長	ロスチスラフ・マスリョーハ

《日 程》

- 10月23日(日) ウラジオストク発、舞鶴着
- 10月24日(月) 舞鶴市表敬訪問、市内企業視察、55周年記念式典
- 10月25日(火) 京都市へ移動、京都市内視察
- 10月26日(水) 小樽市へ移動



▲市長表敬ではナホトカ市の子どもたちが描いた絵画がナホトカ市長から手渡されました



▲ナホトカ市からは木製の舵のオブジェが贈られ、舞鶴市からは田主誠氏の版画作品を贈りました

12月13日(火)～17日(土)  
舞鶴市代表団がナホトカ市を訪問

ナホトカ市との姉妹都市提携55周年記念事業として、多々見良三・舞鶴市長を団長とする舞鶴市代表団6名がナホトカ市を訪問。

ナホトカ市主催「55周年記念セレモニー」へ出席し、今後の交流の発展に向けて協議したほか、現地の企業等を訪問し、京都舞鶴港の利用拡大に向けたPRを実施しました。

《訪問者(6名)》

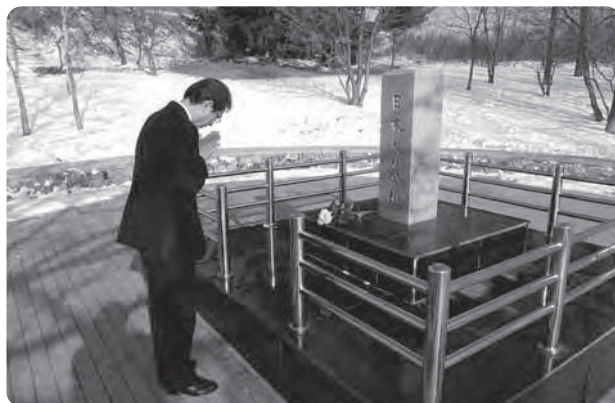
舞鶴市長	多々見良三
舞鶴市議会議長	上野 修身
舞鶴商工会議所会頭	小西 剛
舞鶴市産業振興部産業創造室長	新宮 敦雄
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長	竹原 良治
舞鶴市みなと振興・国際交流課主事	東 康太

《日 程》

- 12月13日(火) 舞鶴発、ウラジオストク着、ナホトカへ移動
- 12月14日(水) ナホトカ市表敬訪問、企業訪問、日本人墓地跡記念施設訪問、55周年記念セレモニー
- 12月15日(木) ポストーチヌイ港視察、市内保養施設訪問
- 12月16日(金) ウラジオストクへ移動、ウラジオストク市内視察
- 12月17日(土) ウラジオストク発、舞鶴着



▲ゴレーロフ市長を表敬訪問



▲日本人墓地跡記念施設に参拝する多々見市長

# 友好都市・大連市との交流

## 2月23日(火)～25日(木) 舞鶴市代表団が大連市を訪問

平成28年度における大連市との友好都市交流の進展に向け、観光・芸術・教育など様々な分野で具体的な交流事業を実現させるため、舞鶴市産業振興部長をはじめとする舞鶴市代表団4名が大連市を訪問。

大連市政府をはじめとする関係機関を訪問し、担当者との実務協議を行い、今後の友好都市交流における連携強化を図りました。

### 《訪問者(4名)》

舞鶴市産業振興部長	砂原 由明
舞鶴市企業誘致担当課長	小島 宏
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長	竹原 良治
舞鶴市国際交流員	鄒 悦

### 《日 程》

2月23日(火) 舞鶴発、大連着、大連市少年宮・教育局訪問  
 2月24日(水) 大連市現代博物館・美術館視察、大連市  
 旅遊局・九龍旅行社訪問  
 2月25日(木) 大連発、舞鶴着

## 4月15日(金) 平成28年度舞鶴市国際交流員(CIR) 孫亜南さんが着任

舞鶴市民に対する中国文化の理解の推進、友好都市・大連市との文化、経済交流などの橋渡し役として、中国・大連市出身で、12代目(11人目)の国際交流員となる孫亜南(そん・あなん)さんが着任。辞令交付および市長への着任挨拶を行いました。



▲市長と懇談する孫亜南さん

## 3月31日(木) 平成27年度舞鶴市国際交流員(CIR) 鄒悦さんが離任

平成27年4月から、舞鶴市国際交流員として大連市との友好交流や京都舞鶴港振興事業、舞鶴市民との交流事業等を担当してきた鄒悦(そう・えつ)国際交流員が、1年間の勤務を終え離任。辞令交付および市長への離任挨拶を行いました。また、任用期間中の功績を踏まえて総理大臣から任命されるJET絆大使の任命書を交付されました。



▲市長からJET絆大使任命書を交付される鄒悦さん

## 5月22日(日)～5月24日(火) 舞鶴市代表団が「中日観光大連 ハイレベルフォーラム」へ参加

「第27回大連アカシア祭り」の一環として開催される「中日観光大連ハイレベルフォーラム」へ参加するため、また、今後の友好都市交流に向けて協議を実施するため、舞鶴市代表団5名が大連市を訪問。

フォーラムでは多々見市長がパネルディスカッションにおいて舞鶴市・京都舞鶴港のPRを行い、大連市との観光交流発展に向けた協議を実施しました。また、肖盛峰大連市長との面会では港を通じた経済交流の発展や、医療・福祉分野における交流の推進を確認しました。

### 《訪問者(5名)》

舞鶴市長	多々見良三
舞鶴市企業誘致担当課長兼みなと振興担当課長	小島 宏
舞鶴市みなと振興・国際交流課主幹	中井 哲也
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長	竹原 良治
舞鶴市国際交流員	孫 亜 南

### 《日 程》

5月22日(日) 舞鶴発、大連着、大連市政府表敬訪問  
 5月23日(月) 「中日観光大連ハイレベルフォーラム」  
 参加

5月24日(火) 在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所  
訪問、大連発、舞鶴着



▲大連市長との会見の様子



▲京都舞鶴港のPRや、大連発着の友好都市を巡るクルーズの  
提案を行いました

## 5月31日(火)～6月1日(水) 「大連市対外友好協会訪問団」が来訪

舞鶴市と大連市の友好交流における協力関係をさらに  
推進するため、大連市対外友好協会訪問団2名が来訪。

舞鶴市内を視察したほか、9月に開催する「大連市中  
日韓友好都市市民卓球親善試合」に向けて舞鶴卓球協会  
との協議を実施しました。

### 《来訪者(2名)》

大連市人民対外友好協会副会長 吳 智 超  
大連市人民対外友好協会秘書長 曲 世 成

### 《日 程》

5月31日(火) 舞鶴着、歓迎夕食会  
6月1日(水) 市内視察、舞鶴卓球協会との懇談、岡山  
市へ移動

## 8月11日(木)～8月15日(月) 大連市日本観光展に出展

中国における訪日観光の更なる促進と地方都市の魅力  
発信のため、舞鶴市観光関係者3名が在大連領事事務所  
が主催する「魅力日本！日本観光展」に参加。展示会で  
舞鶴市の観光PRやクルーズ船のPRを行ったほか、大  
連市の旅行会社や大連市政府旅游局を訪問し、クルーズ  
客船の寄港誘致などに係る実務者協議を行いました。

### 《訪問者(3名)》

舞鶴市みなと振興・国際交流課主幹 中井 哲也  
舞鶴市観光商業課主事 大西 広明  
合同会社まいづる広域観光公社 陳 嶸

### 《日 程》

8月11日(木) 舞鶴発、大連着  
8月12日(金) 大連市旅行社、在大連領事事務所、大連  
市旅遊局等訪問  
8月13日(土) 「日本観光展」出展  
8月14日(日) 「日本観光展」出展  
8月15日(月) 大連発、舞鶴着



▲歴代国際交流員も会場へかけつけ、舞鶴の  
PRのお手伝いをしてくださいました

## 8月17日(水)～8月21日(日) 大連市少年使節団が来訪

大連高新技術産業園区中心小学校の小学生らで構成さ  
れる少年使節団17名が来訪。大連市からの少年使節団の  
来訪は平成22年の8月以来の約6年ぶり10回目の来訪  
となりました。

舞鶴市長を表敬訪問したほか、倉梯小学校での学校交  
流や陶芸などの日本文化体験、舞鶴市民宅でのホームス  
テイなどを実施し交流を深めました。

### 《来訪者(17名)》

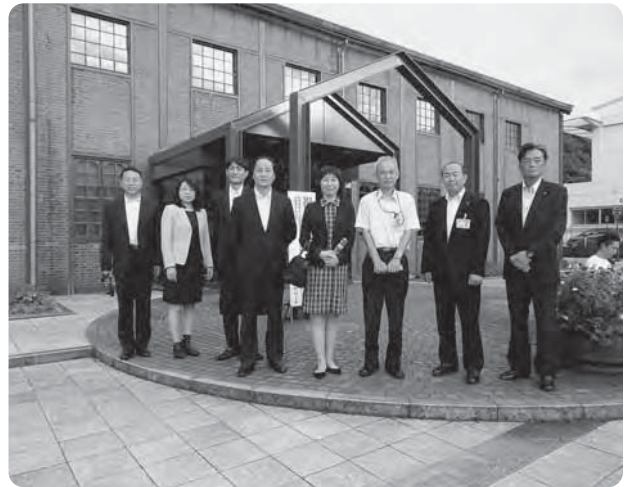
大連高新技術産業園区文教衛生局副局長 葛 非  
大連高新技術産業園区文教衛生局専幹 孫 贇

大連高新技術産業園区中心小学校校長  
大連高新技術産業園区中心小学校教師  
大連市政府外事弁公室職員  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生  
大連高新技術産業園区中心小学校学生

隋 鑫  
劉 曉 華  
孫 立 娣  
邢 書 誠  
王 薪 開  
王 浦 丞  
李 昊 沢  
于 佳 群  
劉 卓 易  
康 嘉 琪  
計 紅 宇  
魏 琳 珂  
王 璐 瑤  
劉 羽 菲  
趙 禹 涵

《日 程》

9月11日(日) 北九州発、舞鶴へ移動、赤れんが博物館  
視察、博物館との意見交換会  
9月12日(月) 引揚記念館見学、京都市へ移動



▲赤れんが博物館を視察

《日 程》

8月17日(水) 大連発、舞鶴着  
8月18日(木) 舞鶴市表敬訪問、市内視察、陶芸体験  
8月19日(金) 学校交流(倉梯小学校)、日本文化体験、  
ホームステイ(6世帯)  
8月20日(土) 終日ホームステイ  
8月21日(日) 舞鶴発、東京へ移動



▲倉梯小学校での学校交流の様子

9月22日(木)～9月26日(月)  
大連市日本商品展示会に出展

京都舞鶴港における中国定期航路の一層の活性化、京都舞鶴港の知名度アップ及び、京都舞鶴港利用企業等の輸出拡大支援を目的として、京都舞鶴港関係者が大連日本商品展示会に出展。京都舞鶴港や関係企業の輸出希望製品をPRしました。

《訪問者(2名)》

(一社)京都舞鶴港振興会専務理事 澤田 信幸  
(一社)京都舞鶴港振興会主任 板橋 祐介

《日 程》

9月22日(木) 舞鶴発、大連着、展示ブース設営、出展  
企業交流会  
9月23日(金) ブースアテンド  
9月24日(土) ブースアテンド  
9月25日(日) ブースアテンド、展示ブース撤収  
9月26日(月) 神原汽船、京都銀行大連事務所訪問、大  
連発、舞鶴着

9月11日(日)～9月12日(月)  
大連市現代博物館訪問団が来訪

大連市との今後の文化交流の可能性について協議を行うため、姜暉・大連現代博物館館長を団長とする訪問団4名が来訪。

赤れんが博物館や引揚記念館を視察したほか、博物館関係者との懇談を実施しました。

《来訪者(4名)》

大連現代博物館館長 姜 暉  
大連市外事弁公室アジア処処長 姜 春 梅  
大連現代博物館処級研究員 虞 海 明  
大連現代博物館典藏技術部主任 谷 振 釈

9月22日(木)～9月26日(月)  
大連市中日韓友好都市市民親善  
卓球大会へ舞鶴市選手団を派遣

大連市と日本、韓国の友好都市間で開催された「大連市中日韓友好都市市民卓球親善試合」に舞鶴市卓球協会から監督1名、選手6名を舞鶴市卓球選手団として派遣しました。

選手団は卓球親善試合に参加し、日中韓3か国での友好交流・相互理解を深めました。

### 《訪問者(10名)》

舞鶴卓球協会会長  
舞鶴卓球協会副会長  
舞鶴卓球協会選手  
舞鶴卓球協会選手  
舞鶴卓球協会選手  
舞鶴卓球協会選手  
舞鶴卓球協会選手  
舞鶴市みなと振興・国際交流課長  
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長  
舞鶴市国際交流員

松下 繁  
植田 忠司  
坂根 武夫  
徳永 隆  
藤本千代美  
永野 貞代  
菅原 弘子  
小森 実  
竹原 良治  
孫 亜南

### 《日 程》

9月22日(木) 舞鶴発、大連市着  
9月23日(金) 開会式、親善試合  
9月24日(土) 親善試合、閉会式  
9月25日(日) 大連市視察  
9月26日(月) 大連市発、舞鶴着



▲親善試合の様子

### 11月9日(水)～11月12日(土) 2016 中国国際友好都市大会へ 舞鶴市代表団を派遣

中国人民対外友好協会が主催する「対中友好都市交流協力賞」を受賞したことに伴い、全国人民対外友好協会と中国国際友好都市連合会が主催する「2016中国国際友好都市大会」へ木村副市長が舞鶴市を代表して出席しました。

「対日友好都市交流協力賞」は、舞鶴市が1982年に大連市と友好都市を締結して以来、両市の友好都市交流の進展に多大な貢献をしてきたことが高く評価されて受賞となりました。

### 《訪問者(2名)》

舞鶴市副市長 木村 学  
舞鶴市企業誘致担当課長兼みなと振興担当課長 小島 宏

### 《日 程》

11月9日(水) 舞鶴発  
11月10日(木) 重慶着、歓迎レセプション  
11月11日(金) 中外友好都市授賞式  
11月12日(土) 重慶発、舞鶴着



授賞式の様子。大連市対外友好協会の代表者と面会しました

11月18日(金)～11月24日(木)  
大連市の画家訪問団が来訪

大連美術館館長の王嵬氏をはじめとする大連市の画家訪問団6名が来訪。

舞鶴市で絵画展「絵画の品格：大連市当代芸術絵画日本展」を開催するとともに、滞在中には、舞鶴市の画家と一緒に赤れんがパークをはじめとする舞鶴の自然風景、文化財等を描き、市民文化交流を図りました。今回制作した作品については、平成29年度に舞鶴市・大連市友好都市提携35周年記念事業の一環として、大連美術館において展示される予定です。

《来訪者(6名)》

大連美術館館長	王 嵬
大連市台湾同胞連誼会	孫 悦 明
大連市油絵学会理事長	徐 恭 政
大連市工業版画院院長	陳 豪
大連市水絵学会秘書長	薛 継 斌
旅順第三高等学校教師	王 艷

《日 程》

11月18日(金) 大連発、舞鶴着  
 11月19日(土) 田辺城で作品制作、絵画展開幕式、歓迎レセプション  
 11月20日(日) 金剛院、松尾寺で作品制作  
 11月21日(月) 吉原地区で作品制作、舞鶴市内視察  
 11月22日(火) 金剛院、松尾寺で作品制作  
 11月23日(水) 西舞鶴市街地、赤れんがパークで作品制作、絵画展閉幕  
 11月24日(木) 舞鶴発、大阪へ移動



▲舞鶴市内での作品制作の様子

12月8日(木)～12月9日(金)  
中国国際貿易促進委員会大連市  
分会訪問団が来訪

中国国際貿易促進委員会大連市分会の崔鉄会長をはじめとする訪問団7名が来訪。

会長の父である崔栄漢氏が大連市長であった時代に、舞鶴市と大連市が友好都市締結に調印した縁から舞鶴市を訪問したい旨打診があったことから、今回の来訪が実現しました。訪問団一行は舞鶴市長や、舞鶴商工会議所会頭との会見を行いました。

《来訪者(7名)》

中国国際貿易促進委員会大連市分会会長	崔 鉄
中国国際貿易促進委員会大連市分会機関党総支専職副書記	梁 慶 昌
中国国際貿易促進委員会大連市分会法律事務部部长	袁 昱
中国国際貿易促進委員会大連市分会国際連絡部部长	王 聖 青
中国国際貿易促進委員会大連市分会国際連絡部副主任科員	陳 瑩
大連国際商会職員	魏 文 博
大連国際商会展覽公司職員	趙 洪 旭

《日 程》

12月8日(木) 午後 金沢から移動、舞鶴着、歓迎夕食会  
 12月9日(金) 午前 市長表敬、商工会議所会頭との会見、京都へ移動



▲表敬訪問では掛け軸が贈られました

# 姉妹都市・ポーツマス市との交流

## 3月19日(土)～3月28日(月) 平成27年度ポーツマス市訪問青少年 英語研修を実施

市内在住の中学生と高校生の9名が、ポーツマス市でホームステイをしながら英語を学ぶ研修に参加。

参加者は語学学校での英語研修のほか、ポーツマス市名誉市長への表敬訪問や、現地学校の生徒との交流に参加し、若い世代における姉妹都市間の友好交流を深めました。

### 《訪問者(9名)》(学校・名簿順)

青葉中学校2年	菊田 潤
若浦中学校2年	南 大翔
若浦中学校2年	石橋 愛理
若浦中学校3年	奥田 真
西舞鶴高校1年	上吉川夏海
西舞鶴高校1年	棕田 莉央
東舞鶴高校1年	近藤 彩
東舞鶴高校1年	大野 真奈
舞鶴高専1年	鈴木 涼

### 《日 程》

- 3月19日(土) 舞鶴発、ポーツマス着
- 3月20日(日) 午前：ホストファミリーとの対面、ホームステイ
- 3月21日(月)～25日(金) Portsmouth Language Collegeでの英語研修、ホームステイ

- 3月22日(火) 午後：メイフィールド校との学校交流、ボーリング
- 3月23日(水) 午後：ポーツマス市名誉市長への表敬訪問
- 3月26日(土) ロンドンへ移動、市内見学
- 3月27日(日) ロンドン市内見学、ロンドン発
- 3月28日(月) 舞鶴着

## 5月17日(水) ポーツマス市議会において 新議長・新名誉市長を選出

ポーツマス市議会年次定例会において、新閣僚の選挙が行われ、保守党党首であるドナ・ジョーンズ議員が市議会議長として再選されました。また、同日、名誉市長選出式典が開催され、新名誉市長にデイビッド・フラー議員および新副市長にケン・エルコム議員が選出されました。

(※ポーツマス市名誉市長は、市議会議員から互選で選出されます。任期は1年)



▲英語学校での研修の様子

## その他の都市との友好交流

### 1月15日(金)～16日(土) 浦項市青少年交流団が来訪

京都舞鶴港と韓国・浦項 浦項迎日湾港との国際フェリー航路の開設に向けた人的交流の一環として、浦項市青少年交流訪問団 30 名が来訪。

若浦中学校を訪問し日本文化を通じた学校交流に参加した後、七宝重ねのタンブラー作りを体験し、舞鶴市民宅でのホームステイを行うなど、市民との交流を深めました。

#### 《来訪者 (32 名)》

長機中学校 3 年生  
浦項中学校 3 年生  
榮信中学校 2 年生  
同志中学校 2 年生  
大島中学校 2 年生  
浦項製鉄中学校 2 年生  
大松中学校 2 年生  
大松中学校 2 年生  
大東中学校 2 年生  
大東中学校 2 年生  
浦項中学校 1 年生  
浦項製鉄中学校 3 年生  
環湖女子中学校 3 年生  
昌浦中学校 3 年生

ウ・スハン  
イム・ヒョンビン  
ジャン・ドンワン  
キム・ドンジュン  
イ・ジョンミン  
イ・ヒョンジュン  
ジン・ソンジェ  
ジョン・ジェヒョン  
ファン・インジュン  
キム・ジンガン  
ジョ・ミンス  
ホン・ヘジン  
ジャン・ジョンユン  
ジョン・ソヨン

昌浦中学校 3 年生  
柳江中学校 3 年生  
浦項女子中学校 3 年生  
浦項女子中学校 3 年生  
同志女子中学校 3 年生  
柳江中学校 2 年生  
迎日中学校 2 年生  
迎日中学校 2 年生  
杞溪中学校 2 年生  
杞溪中学校 2 年生  
梨洞中学校 2 年生  
西浦中学校 2 年生  
長機中学校 1 年生  
梨洞中学校 1 年生  
浦項市役所・国際協力担当職員  
浦項市役所・国際協力担当職員

ジョン・ダイ  
キム・ガリン  
グォン・イエウン  
グォン・イエジン  
キム・ウンヒ  
キム・イエジン  
キム・ソンヒ  
イ・ダビン  
イ・ラヨン  
キム・ウンジョン  
イム・チャン  
ユン・スジン  
キム・ソンウン  
ファン・サビン  
キム・ミジョン  
パク・ユズン

#### 《日 程》

1月15日(金) 舞鶴着、学校交流(若浦中学校)、ホストファミリー対面式  
1月16日(土) ホストファミリーと市内見学など、京丹後市へ移動



▲若浦中学校での学校交流の様子



## 1月24日(日) ウズベキスタン「日本人抑留者記念館」 館長が来訪

ウズベキスタン・タシケント市「日本人抑留者記念館」のジャリル・スルタノフ館長ら3名が来訪。同氏が安倍総理大臣からの招待を受け来日した際に舞鶴引揚記念館の見学を希望されたことから、今回の来訪が実現しました。

スルタノフ館長らは舞鶴引揚記念館を訪問し、館内を視察したほか、市内学校生徒向けに「日本人抑留者記念館」を説明し、「タシケント第4ラーゲル会」会員との面会をするなど、市民との交流を行いました。

### 《来訪者(3名)》

日本人抑留者記念館館長	ジャリル・スルタノフ
夫人	ナシバ・スルタノフ
孫娘	リソラット・スルタノフ



▲引揚記念館を訪問する館長

## 7月4日(月)～7月9日(土) ICOMミラノ2016大会に参加

舞鶴市及び舞鶴引揚記念館の国際的価値を高め、広く国際社会に発信するとともに2019年に京都市での開催が決定している「ICOM京都大会」の関連事業の誘致を目指し、舞鶴市長をはじめとする舞鶴引揚記念館関係者がICOMミラノ大会へ参加しました。

会議では、各国の博物館関係者と情報交換やICOM関係者及び日本国内委員等関係者へのPRを行い、「ICOM京都大会」関連事業を舞鶴市へ誘致することについて、可能性を探りました。

### 《訪問者》

舞鶴市長	多々見良三
舞鶴市みなと振興担当課長	小島 宏
舞鶴引揚記念館学芸員	長嶺 睦
舞鶴市みなと振興・国際交流課	松崎 康

### 《日程》

7月4日(月) 開会式・基調講演・各国際委員会

7月5日(火) 各国際委員会・基調講演・ワークショップ  
7月6日(水) 各国際委員会・ワークショップ  
7月7日(木) ミラノ市内・近郊博物館の視察  
7月8日(金) イタリア各地の博物館への視察  
7月9日(土) 総会、閉会式、レセプション、日本ブースでのPR

## 7月27日(水)～7月29日(金) 舞鶴市港湾関係者が韓国・浦項市を訪問

浦項市とは平成23年7月の経済交流等の推進に係る協定締結以降、交流促進に努めているところですが、「第13回浦項国際花火まつり」の開催にあわせ、舞鶴市港湾関係者が浦項市を訪問しました。

訪問時には、李康徳・浦項市長と面会したほか、北東アジアCOE経済協力フォーラム「実務者会議」に参加するなどして、今後の交流発展に向けて協議を行いました。

### 《訪問者(4名)》

舞鶴市長	多々見良三
舞鶴市産業創造室長	新宮 敦雄
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	澤田 信幸
(一社)京都舞鶴港振興会理事	飯田 徹

### 《日程》

7月27日(水) ソウル着  
7月28日(木) 会社訪問、浦項へ移動、浦項市長表敬  
7月29日(金) 韓中露CEO招待物流フォーラム、浦項市発、舞鶴着

## 11月13日(日)～11月15日(火) 駐日ウズベキスタン共和国大使が来訪

舞鶴市が2020東京オリンピックのウズベキスタン・ホストタウンに登録されたことを受け、駐日ウズベキスタン共和国大使ファルフ・トゥルスノフ氏が来訪。

市長表敬訪問をはじめ、ウズベキスタン料理給食を行う小学校の訪問や、ホストタウン登録のきっかけとなった「ウズベキスタンでの抑留」関係史料を展示する引揚記念館、また、オリンピックのレスリングの直前合宿の候補施設である文化公園体育館を視察しました。

### 《来訪者(2名)》

駐日ウズベキスタン共和国特命全権大使  
トゥルスノフ・ファルフ・イスロムジョノヴィチ  
駐日ウズベキスタン共和国 二等書記官  
ハサノフ・アスカラリ

### 《日程》

11月13日(日) 舞鶴着  
11月14日(月) 文化公園体育館、市内施設・事業所視察、倉梯第二小学校との交流  
11月15日(火) 舞鶴発、京都着

# 京都舞鶴港関係の貿易・経済交流

## 2月23日(火)～2月24日(水) 京都舞鶴港韓国訪問団がソウルを訪問

新規貨物の獲得と日韓コンテナ航路の拡充に向け、現在舞鶴港に寄港している船社等と協議を行うため、京都舞鶴港関係者で構成される訪問団が韓国・ソウル市を訪問。

併せて日韓露国際フェリー直行定期航路の早期開設に向け、DBSクルーズフェリーとの協議を実施しました。

### 《訪問者(3名)》

(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	入江 一郎
舞鶴市みなと振興・国際交流課長	新宮 敦雄
(一社)京都舞鶴港振興会主任	栢分 駿

### 《日程》

2月23日(火) ソウル着、長錦商船・興亜海運訪問  
2月24日(水) DBSクルーズフェリーとの協議、ソウル発、関空着



▲市長表敬の様子

## 2月26日(金) 中国・黒龍江省綏芬河(すいぶんが)市 共産党委員会書記が来訪

綏芬河市は、中国東北地方と極東ロシア・日本海を經由して日本との間を最短で結ぶ物流ルート上に位置し、京都舞鶴港の貿易発展に重要な可能性を有しています。京都舞鶴港ではこれまで同市とのつながりはありませんでしたが、大阪で「中国黒龍江省における一帯一路 中国東北地域との新貿易ルート(環日本海経済研究所(ERINA)主催)」が開催されたことに併せ、中国黒龍江省綏芬河市党書記を団長とする一行が来訪しました。

一行は、舞鶴市長を表敬訪問したほか、京都舞鶴港の視察を行い、経済をはじめとする様々な分野での交流の可能性について協議しました。

### 《来訪者(7名)》

中国共産党綏芬河市委員会書記	李 大 義
綏芬河市人民政府副市長	劉 琦
綏芬河市人民政府外事處處長	劉 思 聡
黒龍江省人民政府外事弁公室日本処主任科員・通訳	敬 劍
綏芬河商聯集団遠東集団董事長	孫 来 君
綏芬河海鉄聯捷国際貨運代理有限公司総経理	樊 繼 忠
(公財)環日本海経済研究所(ERINA)	佐藤 尚

## 5月11日(水)～5月12日(木) 京都舞鶴港韓国訪問ミッションを派遣

日韓露国際フェリーの早期開設に向け、京都舞鶴港湾関係者が韓国・ソウル市を訪問。

DBSクルーズフェリーに対し、協力を要請するとともに開設に向けた船舶確保等、準備状況の確認と協議を行いました。併せて、日韓コンテナ航路の拡充に向け、現在舞鶴港に寄港している船社などと協議を行いました。

### 《訪問者(5名)》

京都府京都舞鶴港振興監	酒井 敦史
京都府海外経済課副主査	川上 聡一
舞鶴市産業創造室長	新宮 敦雄
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	入江 一郎
(一社)京都舞鶴港振興会理事	飯田 徹

### 《日程》

5月11日(水) 関空発、仁川着、DBSクルーズフェリーとの協議  
5月12日(木) 長錦商船(株)訪問、興亜海運訪問、仁川発、関空着

## 5月27日(金)～6月3日(金) 舞鶴市長が米国バルディール市・ シアトル市を訪問

京都舞鶴港へのLNG基地の立地に向け、舞鶴市長が京都府知事とともに米国アラスカ州バルディール市等を訪問。天然ガスの新たな調達先として有望な米国アラスカ州を視察するとともに、京都府とアラスカ州との「エネルギー資源に関する覚書」に基づき、現地政府関係者と今後の交流について協議を行いました。

併せて、シアトル市内のクルーズ船社の本社を訪問し、京都舞鶴港のPR活動及びクルーズ客船誘致のトップセールスを行いました。

### 《訪問者(4名)》

舞鶴市長	多々見良三
京都府京都舞鶴港振興監	酒井 敦史
舞鶴商工会議所副会頭	安達 久和
舞鶴市企業誘致担当課長兼みなと振興担当課長	小島 宏

他、京都府関係者

### 《日 程》

5月27日(金) 舞鶴発、アンカレッジ着  
5月28日(土) バルディールへ移動、バルディール市長表敬、市内視察、アンカレッジへ移動  
5月29日(日) マタヌスカ・スシトナ郡訪問  
5月30日(月) プリンス・ウィリアム湾視察  
5月31日(火) アラスカ州知事表敬訪問、天然資源省関係者・アラスカLNGプロジェクト事業者との意見交換、シアトルへ移動  
6月1日(水) クルーズ船社訪問、クルーズターミナル視察  
6月2日(木) シアトル発  
6月3日(金) 舞鶴着

## 7月5日(火) 束草市長が来訪

外航クルーズ船の寄港状況に係る視察のため、韓国・束草市長が来訪。

一行は舞鶴市長への表敬訪問、京都舞鶴港の視察を行い、外航クルーズ・日韓露国際フェリーの寄港状況や、クルーズ客船寄港時の受け入れ体制等について、情報収集と意見交換を実施しました。

### 《訪問者(8名)》

束草市長	イ・ビョンソン
束草市議会議員	チェ・ジョンヒョン
束草市経済振興課長	キム・テギョン
束草市秘書室長	イ・ソンギョ
(株)雪獄(民間企業)顧問	チェ・ミョンムン
江原民放(テレビ局)取材記者	チョ・ギヒョン
江原民放(テレビ局)カメラ記者	ウォン・ジョンチャン
江原民放(テレビ局)オーディオ編集者	キム・ジュノ

## 8月7日(日)～8月10日(水) 京都舞鶴港綏芬河訪問調査団が 綏芬河市を訪問

京都舞鶴港の貨物量の拡大を図るため、中国東北地方と日本を最短で結ぶ輸送ルート上に位置する綏芬河市を京都舞鶴港関係者4名が訪問しました。

訪問団は同市にて開催された博覧会及び経済フォーラムに参加し、中口国境付近の現状を視察するとともに、現地の輸送会社等を訪問し、新たな物流ルートの可能性の調査を行いました。

### 《訪問者(4名)》

京都府商工労働観光部海外経済課長	熊谷 隆
京都府商工労働観光部海外経済課京都舞鶴港振興総括担当課長	西山 裕樹

舞鶴市企業誘致担当課長兼みなと振興担当課長	小島 宏
-----------------------	------

(一社)京都舞鶴港振興会理事	飯田 徹
----------------	------

※日本国際貿易促進協会京都総局専務理事 中重節子氏が同行

### 《日 程》

8月7日(日) 綏芬河市訪問 書記表敬訪問  
8月8日(月) 第4回中国国際口岸貿易博覧会、中口国境線と東北アジア全域にわたる共同発展に向けたトップフォーラム参加  
8月9日(火) 綏芬河市内企業、合作区視察  
8月10日(水) 日本青島総領事館、神原汽船青島事務所訪問、青島発、舞鶴着

## 10月6日(火)～10月8日(土) 環日本海拠点都市会議に参加

韓国東海市で開催される「環日本海拠点都市会議」にオブザーバーとして参加しました。

各港関係者と日本海側港湾の発展に向けた情報交換を行うとともに、併せて、会議に参加する韓国・浦項市、東海市、束草市の行政・港湾関係者との協議を行い、日韓フェリー航路の就航に向けた協議を行いました。

### 《訪問者(4名)》

舞鶴市副市長	堤 茂
京都府京都舞鶴港振興監	酒井 敦史

京都府海外経済課副主査	川上 聡一
(一社)京都舞鶴港振興会理事	飯田 徹

### 《日 程》

10月6日(木) 舞鶴発、東海市着、DBSクルーズフェリー東海事務所訪問、浦項市長と協議  
10月7日(金) 第22回環日本海拠点都市会議出席、束草市長との協議、東海市長との協議  
10月8日(土) 東海市発、舞鶴着

## 11月10日(木)～11月11日(金) 東海市訪問団が来訪

環日本海都市との交流による東海港の物流・人流振興政策を立案することを目的として、東海市北方物流研究支援センターから訪問団が来訪しました。

訪問団は、舞鶴市内を視察するとともに、京都舞鶴港港湾関係者と実務協議を行いました。

### 《来訪者(3名)》

東海市北方物流研究支援センターセンター長 チェ・ギジュン  
東海市北方物流研究支援センター次長 イム・ソンフン  
東海市北方物流研究支援センターチーム長 カン・ダルフォン

## 12月13日(火)～12月17日(土) ウラジオストク経済ミッションを派遣

DBSクルーズフェリー貨物の集荷並びに日本通運のLCLサービスの利用促進のため、京都舞鶴港関係者がウラジオストク市を訪問し、地方行政や経済団体、商社、事業者等と面会し、舞鶴港の魅力をPRしました。また、ウラジオストクでの舞鶴港セミナー開催に向け、訪問先に協力要請をしました。

### 《訪問者(3名)》

(一社)京都舞鶴港振興会専務理事 澤田 信幸  
舞鶴市みなと振興・国際交流課長 小森 実  
(一社)京都舞鶴港振興会主任 久保 将太

※日本通運株式会社舞鶴海運支店 国際輸送課長 室田和弘氏が同行

### 《日 程》

12月13日(火) ウラジオストク着  
12月14日(水) 現地経済団体及び企業との協議  
12月15日(木) 現地経済団体及び企業との協議  
12月16日(金) 在ウラジオストク日本総領事館訪問、ウラジオストク商業港等の視察  
12月17日(土) ウラジオストク発、舞鶴着



▲現地の企業に舞鶴港の魅力をPRしました

# 舞鶴へのインバウンド事業

1月21日(木)～1月24日(日)

韓国料理学院ツアー受入

韓国の料理学校の学生と教員ら20名が来訪し、ご当地グルメの肉じゃがなど舞鶴の家庭料理の調理実習をしました。今回来訪したのは全州宮殿料理製菓職業専門学校など3校の20人。日本料理を学ぶ教育旅行の一環で、まいづる広域観光公社が初めて受け入れを行いました。



▲調理実習で日本料理を学びました

2月27日(土)～3月5日(土)

香港・台湾の旅行社・出版社を営業訪問

舞鶴市観光関係者と若狭湾観光連盟が連携し、香港・台湾(台中市、台北市)の旅行社や出版社を訪問しました。各訪問先で情報収集や海の京都・舞鶴のPRを行い、訪日客誘致活動に取り組みました。

《訪問者》

まいづる広域観光公社  
舞鶴市観光商業課主査

劔菱 英明  
渋沢 元気

6月1日(火)

「まいづる広域観光公社」に  
台湾人スタッフ・陳嶸さんが着任

訪日客数が増えている台湾や香港から舞鶴への観光誘客を進めることを目的として、「まいづる広域観光公社」に台湾人の陳嶸さんがスタッフとして着任しました。台湾語・日本語を話せる陳さんは台湾や香港の旅行者へのセールス、市内業者へのアドバイスなどを担当します。

6月21日(月)～6月25日(土)

日本観光物産博参加と  
旅行社・メディア社訪問

舞鶴市観光関係者と若狭湾観光連盟が連携し、台湾・台北駅で開催された「日本観光物産博」に出展し個人客への観光PRを行ったほか、旅行社を訪問し、舞鶴の旅行商品の提案や具体的なツアーコースの提案等を行い、訪日客誘致活動に取り組みました。

《訪問者》

舞鶴観光協会  
まいづる広域観光公社  
舞鶴市観光商業課主査  
他

劔菱 英明  
陳 嶸  
渋沢 元気



▲「日本観光物産博」で観光PR

7月22日(金)

「京都舞鶴パスポートブック」の配布を開始

舞鶴観光ステーションでは、外国人観光客を対象とした「パスポートブック」の配布を開始しました。舞鶴市内のホテルや免税店等で使えるクーポンが付いた観光パンフレットで、配布開始から12月までの期間に192名に配布しました。

9月6日(火)～9月10日(土)

関西地域振興財団主催「台湾商談会」に参加

舞鶴市観光関係者と若狭・中丹観光関係者が連携し、「台湾商談会」に参加したほか、旅行社を訪問し、舞鶴の旅行商品の提案や具体的なツアーコースの提案を行い、訪日客誘致活動に取り組みました。

《訪問者》

舞鶴市観光商業課主査  
まいづる広域観光公社  
他

渋沢 元気  
陳 嶸

## 外国人ブロガー等に対する舞鶴観光PR

海外で旅行情報を発信するブロガーやタレント等による、舞鶴取材の受け入れを実施しました。

3月8日～9日

香港お笑いタレント ムコアンジー氏

4月2日

韓国人パワーブロガー チェ・ヤンフン氏

4月4日

タイ人ブロガー キッタートン・ラチャダポーン氏

7月23、24日

タイ人ブロガー Tanong氏

7月25日

韓国人ブロガー ソン・ウンジョ氏

6月19日～20日

シンガポールブロガー Mindy Yeo氏

9月16日

林姿吟氏

11月5日～6日

台湾ETtoday 取材

11月9日～10日

台湾ブロガー MAY氏、日游LEE氏

11月14日～15日

タイ人俳優・歌手 Dome氏

11月15日～17日

香港WOW media 取材

11月25日～26日

韓国の写真家 ナム氏、ブロガー カン氏



▲香港のタレント“ムコアンジー”が舞鶴を取材

# 京都舞鶴港へのクルーズ客船誘致事業

3月13日(日)～3月19日(土)  
「シートレード・グローバル2016」に参加

世界のクルーズ業界関係者が一堂に会する「シートレード・グローバル2016」が米国・フォートローダーデールで開催され、観光庁主催の日本ブース出展者として参加しました。京都舞鶴港を広くPRするとともに積極的な誘致活動を展開しました。

## 《訪問者(2名)》

舞鶴市みなと振興・国際交流課主幹 中井 哲也  
舞鶴市企業誘致担当課長 小島 宏

## 《日程》

3月13日(日) 舞鶴発、フォートローダーデール着  
3月14日(月) 出展準備  
3月15日(火) コンベンション・PR活動  
3月16日(水) コンベンション・PR活動  
3月17日(木) コンベンション・PR活動  
3月18日(金) フォートローダーデール発  
3月19日(土) 舞鶴着

5月11日(水)～5月15日(日)  
「シートレード・クルーズ・アジア2016」  
に参加

アジア最大のクルーズ・コンベンションである「シートレード・クルーズ・アジア2016」が釜山で開催され、日本海側ブース出展者として参加しました。京都舞鶴港が「外航クルーズ」機能における日本海側拠点港として更に飛躍を遂げるため、京都舞鶴港を広くPRするとともに積極的な誘致活動を展開しました。

## 《訪問者(3名)》

舞鶴市みなと振興・国際交流課主幹 中井 哲也  
(一社)京都舞鶴港振興会主任 栢分 駿  
舞鶴市観光商業課 高橋 美花

## 《日程》

5月11日(水) 釜山着、出展準備  
5月12日(木) 「シートレード・クルーズ・アジア2016」  
コンベンション・PR活動  
5月13日(金) 「シートレード・クルーズ・アジア2016」  
コンベンション・PR活動  
5月14日(土) 釜山市内にて京都舞鶴港PR活動  
5月15日(日) 釜山発、舞鶴着



▲シートレード・グローバル2016 会場の様子

7月6日(水)～7月11日(月)  
欧州クルーズ船社へのPR活動

舞鶴市長がイタリア・ミラノにおいて開催される国際博物館会議に参加する機会に合わせ、ミラノ隣接地域であるジェノバおよびモナコに本社を置くクルーズ船社2社を訪問し、京都舞鶴港トップセールスを行いました。

《訪問者(4名)》

舞鶴市長	多々見良三
京都府京都舞鶴港振興監	酒井 敦史
舞鶴市企業誘致担当課長兼みなと振興担当課長	小島 宏
舞鶴市みなと振興・国際交流課	松崎 康

《日程》

7月6日(水) 舞鶴発、ニース着  
7月7日(木) クルーズ船社「シルバーシー・クルーズ」へのPR活動(モナコ)  
7月8日(金) クルーズ船社「コスタクルーズ」へのPR活動(伊・ジェノバ)  
7月9日(土) 「ICOM国際博物館会議ミラノ大会」参加(伊・ミラノ)  
7月10日(日) ミラノ発  
7月11日(月) 舞鶴着

9月22日(木)～9月25日(日)  
第11回中国クルーズ産業発展大会・  
国際クルーズ博覧会への参加

クルーズ客船関係者が出席し、フォーラムやブース出展を行う「第11回中国クルーズ産業発展大会・国際クルーズ博覧会」が中国・天津市で開催され、クルーズ船社の動向調査や京都舞鶴港へのクルーズ客船誘致を図るため、京都舞鶴港関係者が参加しました。

《訪問者(2名)》

舞鶴市企業誘致担当課長兼みなと振興担当課長	小島 宏
京都府商工労働観光部海外経済課主任	水梨 和久

《日程》

9月22日(木) 舞鶴発、北京着、JNTO北京事務所訪問・客船チャーター元旅行会社訪問  
9月23日(金) 「第11回中国クルーズ産業発展大会・国際クルーズ博覧会」参加  
9月24日(土) 「第11回中国クルーズ産業発展大会・国際クルーズ博覧会」参加  
9月25日(日) 天津発、舞鶴着



▲シルバーシー・クルーズでのトップセールスの様子



# 市民主体の国際交流

5月14日(土)

「地球のステージ6」が開催

舞鶴商工観光センターで、神奈川県海老名市の精神科医・桑山紀彦さんのライブ「地球のステージ」が開催されました。約30年間にわたって世界各地で医療救援活動を行っている桑山さんが、協力活動の中で撮りためた映像と出会った人々の「輝き」をオリジナルの音楽と語りで伝えました。第2部では、東日本大震災の被災地の様子を伝えました。

5月20日(金)～23日(月)

「中日アカシア巡りウォーキング大会」  
に舞鶴市民が参加

大連市で実施された「中日アカシア巡りウォーキング大会」に舞鶴国際交流協会の呼びかけにより舞鶴市民14名が参加しました。参加者はウォーキング大会への参加を通じて大連市民との交流を深めるとともに、大連市内や旅順を見学しました。また、舞鶴国際交流協会は、大連市中日友好協会と友好交流に関する合意書を締結しました。



▲ウォーキング大会の様子

6月18日(土)～19日(日)

第1回「体験型留学生ツアー」で  
京都産業大学留学生が来訪

NPO法人・北近畿みらいの主催で、京都産業大学の留学生ら31名が舞鶴市を訪問しました。参加者は杉山地区で散策やピザ焼き体験、野原地区で釣り体験に参加し、地元の自然を楽しみ、地域住民との交流を深めました。



▲杉山でピザづくり体験

6月19日(日)

平成28年度インターナショナル  
与保呂フェスティバルを開催

与保呂小学校では世界に目を向けたくましく生きる児童の育成を目指し、毎年、「インターナショナル与保呂フェスティバル」を開催しています。本年は、孫亜南・国際交流員をはじめ、京都産業大学の留学生や梁靖雅（ヤン・ジョンア）京都府名誉友好大使の参加を得て開催され、全校児童との交流を行いました。参加者は出身国の紹介や習字・獅子舞などの日本文化を通じて交流と相互理解を深めました。



▲クラスでの交流の様子

6月25日(土)

### 舞鶴高専留学生との交流会を開催

舞鶴国際交流協会が、舞鶴高専に留学しているベトナムとタイからの留学生2名と交流会を開催しました。田辺城でお城巡りを楽しんだり、西市民プラザでの交流懇話会では日常生活における生活スタイルや文化の違いなどについて意見交換を行い、相互理解の推進を図りました。



▲田辺城資料館を案内しました

8月3日(水)～7日(日)

### ドイツスポーツ少年団が来訪

第43回日独スポーツ少年団同時交流が開催され、ドイツニーダーザクセン州から6名のドイツスポーツ少年団員が来訪しました。訪問団は舞鶴市内の見学や、舞鶴市民宅へのホームステイ、日星高校バスケットボール部や少林寺スポーツ少年団とスポーツ交流を行い、相互理解と交流を深めました。



▲日星高校バスケットボール部との交流

7月26日(火)

### 韓国・パイントゥリーホーム院生が舞鶴学園を訪問

児童養護施設「舞鶴学園」では、日韓両国の児童養護施設で生活している子どもたちが交流をすることによって国際理解を深め、豊かな心を育むため、韓国・仁川市の児童養護施設「パイントゥリーホーム」と、毎年夏と冬にお互いの国を訪問する日韓交流事業を行っています。本年は同ホームから院生3名と職員1名が来訪。一行は滞在中、浮島丸殉難の碑に献花を行ったほか、茶道体験やお互いの国の料理を作るなどして交流を深めました。



▲舞鶴市表敬の様子

9月24日(土)

### 「たぶんかサロン」第1回が開催

NPO舞鶴国際交流協会が舞鶴市在住の外国人と日本人が気軽に交流し、お互いの国の文化を学ぶことのできる「たぶんかサロン」を開催しました。第1回目は「韓国のお盆を楽しもう」をテーマに、舞鶴市在住・韓国出身の松山英珠さんを講師にお招きし、韓国のお盆や食文化について学びました。

その後月1回たぶんかサロンを開催。

第2回：10月29日(土) 「日本文化」

第3回：11月27日(日) 「フィリピン文化」

第4回：12月17日(土) 「クリスマス会」



▲韓国の文化について楽しく学びました

10月19日(水)

## 余内小学校が国際理解教室を開催

余内小学校では、児童が世界の国々に対する理解を深め、友好的で平和な国際社会の一員として生きる力の基礎を育むため、「国際理解教室」を実施しており、本年度4度目の実施となります。児童たちは講師の孫亜南・国際交流員から、友好都市・大連市の概要や、中国語の簡単なあいさつ、中国の遊び、文化や習慣などを学び、異文化に対する理解を深めました。



▲児童たちは中国の文化に興味津々です

11月4日(金)

## 倉梯小学校が「ワールド教室」を開催

倉梯小学校では、海外出身者を招へいし、一緒に学習することで異文化理解を図り、自国の文化を尊重する態度を育成することを目的として、「ワールド教室」を開催。孫亜南・舞鶴市国際交流員や京都市内の外国人留学生在が、学級で授業に参加して、出身国の話をしたり、児童とゲームをしたりする等、交流と相互理解を深めました。



▲児童たちは世界各国の出身者との交流を楽しみました

11月4日(金)～6日(日)

## 舞鶴ユネスコ協会が「世界児童絵画展」を開催

舞鶴ユネスコ協会が、ショッピングセンターらぼーるにおいて、「世界児童絵画展」を開催しました。市内の幼稚園、小・中学校のほか、姉妹・友好都市であるロシア・ナホトカ市、中国・大連市、英国・ポーツマス市から53点の絵画が展示され、3日間で、2,657人の来場がありました。



▲絵画展の様子

11月6日(日)

## まいてフェスタに舞鶴国際交流協会が 出展

NPO舞鶴国際交流協会が「舞鶴にハロウィンがやってきた」をテーマにまいてフェスタに参加しました。舞鶴の子どもたちに外国の文化に親しんでもらうことを目的に、トリック・オア・トリート・ゲーム、寸劇などのイベントを実施しました。

12月10日(土)

## 舞鶴国際交流協会が外国料理教室を開催

NPO舞鶴国際交流協会では、異文化理解を深めるため、毎年外国料理教室を開催しています。本年は孫亜南・国際交流員を講師に招き、中国料理教室を開催し「春餅」を作りました。参加者は中国の食文化を学びながら、料理作りを楽しみました。



▲料理教室の様子



## 第1回日中韓交流卓球大会に参加して

舞鶴卓球協会 松 下 繁

国際交流の一環として、友好都市大連市において4泊5日の日程で、中国3市（大連・丹東・本溪）、韓国3市（仁川・平澤・光州）、日本3市（北九州・金沢・舞鶴）の9市で団体戦・個人戦で行う、第1回日中韓の親善交流大会に参加させていただき、たいへん光栄かつ貴重な体験をさせていただきました。

40歳以上の男女各3名が団体戦、個人戦で参加するこの大会に、舞鶴市からは卓球協会所属の6名の選手と監督1名が参加し、熱戦を繰り広げてまいりました。戦績は年齢差、実力差もあり、選手の皆さんはがんばってくれましたが、団体戦は全敗でした。しかし個人戦では藤本千代美選手が唯一ベストエイトに入賞しました。

訪中前の多々見市長による激励会では、戦績も然ることながら、友好のため頑張ってきてくださいと励ましの言葉を頂き、全員心おきなく目的を達成すべく全力を出し切ってきました。友好に関しては、舞鶴市が一番であったと自負しております。

大連市は初めての訪問でしたが、市民のみなさんも友好的でたいへん楽しい訪中でした。今回の訪中に熱烈歓迎して頂きました大連市幹部、スタッフの皆さまの心遣いに感謝いたします。言葉は通じなくても国を超えて同じ人間として、相手を思いやり、解りあえたらとつくづく思います。

特に3か国全員の二度にわたる歓迎セレモニー、そして試合終了後の交流宴会、中国・韓国・日本と国境の無いたいへんすばらしい、心温まる会でした。言葉さえ通じればすぐに近所付き合い、友人になれそうな感じを受けました。

このほか大連市で感じましたのは、人口700万人と舞鶴市の約百倍の規模の都市ですが、道路等インフラがまだまだ途上ようです。交通ルールは日本と比べるともう一つですが、今後少しずつ良くなっていくのだらうと思います。高層マンション、ビルがあちらこちらで建設中の反面、使用されていないビルがたくさんありました。

今回訪中に際しまして、大連市対外友好協会の呉副会長、曲秘書長そして、通訳及び現地案内でたいへんお世話になりました国際交流員の孫 亜南さんをはじめ国際交流課の小森課長、竹原係長さんには不慣れな私たちを何の不安もなく、安全に引率していただき訪中メンバーに成り代わり、厚く御礼を申し上げます。

次回の国際交流の機会があればぜひ参加協力をさせていただきますと思います。



▲舞鶴市卓球選手団



# 舞鶴市国際交流員としての1年間

平成27年度舞鶴市国際交流員 鄒 悦

私は平成27年4月9日に、舞鶴市国際交流員（11代目、10人目）として舞鶴市へ赴任し、舞鶴市・大連市の「架け橋」として、両市間の友好交流と市民間の相互理解促進をミッションとして担いました。舞鶴市の国際交流員としての1年間、出前講座、中国・大連市訪問団が来訪した際の連絡・調整業務や翻訳・通訳、中国・海外に向けた舞鶴の情報発信など様々な業務にあたりました。

## 1. 舞鶴市民の中国・大連市への理解促進

中国文化、中国人の生活様式などについて紹介する発信業務は、舞鶴市民の皆さんに中国・大連市に興味を持っていただき、理解を深めていただくための非常に有意義な機会です。今年度は毎週2回の中国語講座のほか、出前講座を10回行いました。

### （1）NPO法人舞鶴国際交流協会主催 中国語講座への講師派遣

市民向けの中国語講座で1年間講師を務めました。中国語の基礎から、中国の伝統文化や中国で話題になったことを生徒の皆さんと一緒に討論しました。受講生の中には中国語検定に合格した方や、初めての中国旅行で大連市を訪れた方もいました。

### （2）京都府教育委員会認定フリースクール「聖母の小さな学校」への講師派遣

不登校生徒の通うフリースクールで、外国語の学習や異文化理解を通じて他者と向き合う関心と活力を育てる事業として、中国語・中国文化講座を実施しました。

### （3）学校訪問交流

市内学校の国際理解授業に講師として参加しました。中国の紹介や簡単な中国語会話、中国のゲーム等を通じて交流を深め、児童たちに中国文化への理解を深めてもらうことができました。

### （4）市民団体等への出前講座

依頼団体からのニーズに応え、様々な面から中国を紹介しました。中国の教育制度や福祉制度、高齢者の過ごし方など、ときには自分のあまり詳しくない分野の依頼もありましたが、下調べを入念に行い、日本のことと比較しながら紹介できるよう工夫しました。

### （5）舞鶴在住中国籍市民への生活相談

舞鶴で暮らす中国出身の市民からの相談や生活支援に従事しました。

### （6）舞鶴市民の中国交流支援

中国と交流する舞鶴市民に対し、翻訳等の支援を行いました。



▲児童たちに中国文化を紹介しました

## 2. 中国・大連市への舞鶴市PR

舞鶴市で暮らす外国人として中国や海外からのお客様に舞鶴市の魅力を発信するのも国際交流員としての大切な業務の一つです。

### (1) クルーズ客船寄港対応

初寄港した中国発着クルーズ客船寄港時の観光案内や、セレモニーでの司会通訳を担当しました。舞鶴を初めて訪れた中国人に舞鶴市の魅力をPRすることができて良かったです。

### (2) 中国への舞鶴市PRブログの発信

舞鶴市をもっと多くの中国人に知ってもらうために、中国版Twitter「新浪微博」を利用して舞鶴市の情報発信を行いました。ブログをきっかけに舞鶴市を訪れる観光客数が増えれば良いと思います。

### (3) 中国との経済交流支援

- ①大連市日本商品展示会への参加（平成27年9月）
- ②黒竜江省・綏芬河市視察団対応（平成28年2月）

## 3. 友好都市交流における橋渡し役

大連市との友好交流の「架け橋」として中国大連市からの代表団受入、大連市への代表団派遣時に連絡・調整業務や、翻訳・通訳業務にあたりました。

### (1) 大連市からの訪問団受入対応（5回）

今年度は平成29年に迎える大連市との友好都市提携35周年に向けての事前協議のため多くの訪問団の来訪がありました。訪問団のみなさんに舞鶴についてよく知ってもらえるよう、視察のアテンドや通訳業務を行いました。



▲大連市長が来訪した際の通訳を務めました

### (2) 大連市への訪問団派遣時のアテンド（2回）

舞鶴からの訪問団が大連市を訪問する際のアテンド役を務めました。

私にとっては、今回国際交流員として舞鶴市へ赴任したことが、初めての来日であり、初めての日本での生活となりました。この一年間を振り返って、いろいろなことに挑戦し、多くのことをやり遂げられたのは、一人ではできなかったことだと感じています。すべては、職場の上司や先輩たちの指導と協力、市民の皆さんのご支持や理解、歴代の国際交流員たちの支援がなくては成し得なかったでしょう。平成28年4月8日をもって、私の舞鶴市国際交流員としての任期は終わりましたが、舞鶴市国際交流員10人目の卒業生として大連で両都市の友好交流事業を応援していきたいと思っています。皆様、一年間ありがとうございました！これからもよろしくお願いします。



## 外務省への出向 ～東京、そして大連へ～

みなと振興・国際交流課  
(一般社団法人 京都舞鶴港振興会 派遣)

板橋 祐介

平成 25 年 4 月から平成 28 年 5 月までの約 3 年間、外務省と地方自治体との人材交流事業の一環として、外務省への派遣という貴重な機会をいただきました。東京・外務本省で半年間、その後の 2 年半を中国・大連市の在瀋陽日本国総領事館大連領事事務所(以下、大連領事事務所という)で勤務させていただいた経験を振り返り、所感とともにご報告いたします。

※外務省には「在外行政サービス研修員制度」という制度があり、在外公館における行政サービスの向上のため、また、地方の国際化促進のための人材養成等を目的として、都道府県職員及び市職員を在外公館領事担当官として受け入れています。

### 1. 東京・外務本省

#### (1) アジア大洋州局 中国・モンゴル第一課

平成 25 年 4 月 1 日、初出勤の日、外務省という未知の世界へ足を踏み入れることへの不安と、自分の心臓の大きな鼓動を感じながら、満員の地下鉄車両のつり革を握りしめ霞ヶ関へと向かいました。辞令交付を受け、日中間における総合的な外交政策を担当する「アジア大洋州局中国・モンゴル第 1 課」に配属されました。

ここは日中外交の最前線を担う部署で、一步執務室に足を踏み入れるだけでピリッとした空気を感じるような緊張感のある職場でした。日々の業務に携わるなかで感じましたのが、案件の多さ、難解さ、そして何より問われるのが対応のスピードです。例えば、これまで市役所で勤務してきた中で、他部署への作業依頼は、最低でも一週間程度の余裕を持って依頼するのが当たり前だと思っていた私からすれば、「明日 10 時まで」「本日中」「本日 16 時まで」という依頼が遠慮なく殺到する様子に驚き、自分のメールアドレス宛にどんどん依頼が入ってくことに恐怖を感じたほどでした。所属先の班長からは、「仕事を抱え込まず、たとえ 6 割の出来であってもとにかく決裁書を回すこと！」と助言をいただき、そのスピード感に圧倒されながらも、その重要性を

日々心掛け業務にあたっていました。

この時期の日本と中国との関係はというと、尖閣諸島をめぐる情勢に注目が集まっていました。このような日本として譲れない外交上の個別の問題が、日中関係全体に影響しないようコントロールし、大局的観点から対話を進めるといった容易ではない状況下において、外務省では、職員一人ひとりが昼夜を問わず真摯に日中関係改善に取り組んでいました。対中外交の最前線に身を置いて、その緊張感を肌で感じるとともに、その中で自分に仕事を任せていただいたことは、これまでにない稀有な経験となり、今日の自分の心の支えとなっています。市役所での業務とは全く異なる環境下で、右往左往する毎日でもありましたが、職場の方々の御指導のおかげで、充実した日々を送ることができました。

#### (2) 領事局 外国人課

同年 7 月 1 日には、多種多様の業務を学ぶという観点から領事局外国人課に異動しました。大連への赴任前に、大連領事事務所での主たる担当業務について、実務を通じて経験値を得る重要な 3 ヶ月間で

大連領事事務所では主に「査証(ビザ)業務」を担当する予定となっていました。査証とは、旅券(パスポート)が真正かつ有効であり、外国人の日本への入国及びその滞在が差し支えないことを示すいわば日本入国に際する推薦状のようなものです。日本に入国しようとする中国人は、原則として、中国政府の発給する有効な旅券に、日本国政府の発給する査証を受けたものを所持する必要があります。

そのため、大連に居住する中国人やその他の国籍の方は、大連領事事務所でビザを申請することとなります。この査証申請を受理し、発給の可否につき審査・判断することが在外公館における査証業務です。

この頃、観光やビジネスなどで中国を訪問する日

本人旅行客は、尖閣諸島の問題や微小粒子状物質「PM2.5」の発生などが影響して減少を続けており、また、中国から日本への旅行客も落ち込み、双方の観光業界も打撃を受けている状況にありました。

※平成25年の訪日中国人は287.8万人（前年比－18.2%）、訪日中国人は131.4万人（前年比－7.8%）。

他方で、日本にとって中国は最大の貿易相手国であることに変わりはなく、中国にとっても日本は、米国に次ぐ2番目の貿易相手国です。歩み寄りたい経済面と、譲れない政治面とのギャップにより複雑な状況が続いていました。

このような状況下において、日中間の様々な交流は重要であり、その人的交流の根幹を担う査証担当官として、貴重な交流の機会を妨げることはないよう、見極める力を養っていく必要性を感じつつ、とにかくこの3か月間のうちにより多くの知識を得、しっかりと制度への理解を深めようと取り組む日々が続きました。

### （3）東京から大連へ

領事局外国人課での3ヶ月に渡る勤務を終え、4月からの中国・モンゴル第一課での3ヵ月間と合わせ6ヵ月間の外務本省勤務を終えました。東京での半年間、中国・モンゴル第一課では日中外交の最前線を、外国人課では一般国民による経済交流・国際交流と、それぞれ異なる視点から日中関係をみることができ、日中間の政治面での関係が一般国民の往来に与える影響の大きさを感じました。

いよいよ、中国・大連での生活が始まります。このころ、PM2.5の話題がメディアによく取り上げられていたことから、相当数のマスクを購入し、洗剤や衛生用品なども大量に準備し赴任しましたが、この心配は杞憂に終わりました。現在の大連では日本製の生活用品は値段が張るものの大体の物は入手可能であり、また日本滞在時同様中国製の物でも特段の不便は感じることなく生活できました。大気汚染についても、日本国内のメディアで取り上げられるのは特に汚染レベルの高い時期の北京や上海の様子であり、大連で高度の汚染レベルに達することはありません。住み慣れると意外とマスクも使わないもので、2年半の大連生活で使い切ることなく大量に日本に持ち帰ることになりました。

## 2. 中国・大連市

### （1）大連という街

平成25年10月25日、大連国際周水子空港へ到着し、十数個の段ボールとともに車で仮住まいのホテルへ向かう道中、高層ビルやマンションが建ち並び、広い幹線道路を行き交う交通量の多さに圧倒されたというのが第一印象でした。

街の中心部には、ルイヴィトン、プラダ、グッチなど世界的に有名なブランド専門店が並び商業施設、ZARAやユニクロ、H&Mなど外資系ファストファッションの店舗も多く、マクドナルドやスターバックスがあちらこちらにあるなど、中国・大連の経済発展ぶりには驚きました。

また、日本と大連との関係は歴史的にも深く、対外開放した大連には1980年代後半から日系企業の進出が続き、現在では約1,800社以上、約5,700人もの日本人が暮らしています。そのため、街を歩いているとよく日本語を耳にします。日本料理店も多く、日本で食べるのとさほど変わらぬ味を提供する店もあります。大連が沿海部ということもあり食材も豊富で、かつ日本商品を取り扱う店舗もあるため、家庭で日本食を作るのに必要な食材・調味料を入手するのも不自由はありません。大連が日本人にとって、中国で最も暮らしやすい都市のひとつと言われることにも納得です。

### （2）大連での勤務

大連での勤務先は、正式名称「在瀋陽日本国総領事館大連領事事務所」です。外務省が他国に設置する在外公館には、各国の首都に置く大使館（中国：北京）と、主要都市に置く総領事館（中国：上海、広州、瀋陽、重慶、青島、香港）、政府代表部のほか、長期滞在する邦人や訪日中国人が多い地域に置かれる領事事務所があり、大連には、遼寧省の省都・瀋陽市にある「在瀋陽日本国総領事館」の出先機関として領事事務所が設置されています。大連における邦人保護をはじめ、行政サービス（旅券の発給、各種証明書の発行、在外選挙など）、査証（ビザ）、情報収集、日系企業支援、広報文化活動など、業務は多岐にわたります。私は、査証、旅券、地方連携の業務を担うことになり、このうち、査証が主な担当業務でした。

査証業務に従事するようになった当初は、中国人が日本国内に入国・滞在するための査証申請において、身分や渡航目的を証明するために多くの書類を提出しなければならないことに加え、申請書提出後には在外公館において入念な調査が行われるなど、その厳格さを目の当たりにしました。また、犯罪・



テロを計画する者や不法残留・不法就労を行おうとする者、人身取引など、我が国の利益を害する行為を行う外国人の入国を阻止するためにこの厳しい審査が必要であることも理解でき、それだけ責任の大きな仕事であることを再認識しました。

その一方で、経済・民間交流促進の観点から善良な中国人に対しては迅速な査証発給が求められますので、審査件数を重ねるごとにその難しさを感じました。中国人が日本への渡航を希望する目的はまさに百人百様であり、申請人の人生の岐路となる場合も少なくありません。審査に携わる私たちが、その道へ進む扉を開くのか閉じるのかをルールに則って判断しなければなりません。不発給となれば、申請人はもとよりその雇用主や、家族からの苦情電話が頻繁にあるほか、直接事務所に怒鳴り込んで来る場合もあります。個人の利害に密接に関わっていることを肌で感じる人が多いながらも、ルールに則り公平・公正に、また迅速に審査しなければなりません。ひとつのミスも許されない業務であり、非常に神経を使う仕事でした。

大連への赴任前には、前述のとおり、日本への中国人観光客は減少傾向にありましたが、平成26年半ばから急激な増加に転じ、訪日観光ブーム、いわゆる爆買いブームに沸き、訪日中国人は平成25年の131.4万人から、翌年に240.9万人、平成27年には499.4万人と、2年間で4倍近くにまで増えました。これは大連においても例外ではなく、平成25年に比べ、翌年には前年比150%、平成27年には200%を超える増加を記録しました。当然、査証業務は急激な業務量増加に多忙を極め、大変苦慮しました。とはいえ、たくさんの中国人が日本を訪問し、日本を好きになって戻ってくる様子を伝え聞くと非常にうれしかったですし、このような一般国民同士の交流が増えることで、双方両国への理解が深まり、日中関係が良くなっていくものとの思いを胸に、日々取り組んで参りました。

地方連携担当官としての業務からも学ぶところがたくさんありました。大連には6つの地方自治体（神奈川県・北九州市・新潟県・富山県・岩手県・宮城県）が事務所を設置しています。大連へ進出している地元企業の支援、観光PR、地元製品の売込み等様々な業務を担っておられ、職員の方々には、情報交換、時にアドバイスをいただくなど大変お世話になりました。地方自治体出身職員として、地元の発展を願い大連で奮闘されている彼等の姿からは大いに刺激を受けました。

### （3）大連に暮らして

中国という異国での生活を通じ、自分の中の「常識」が、日本に限定された「常識」であることに気づかされることも多々ありました。赴任当初は中国の「常識」に戸惑う場面も多くありましたが、生活しているうちに自然と慣れてくるものです。大連では、タクシーに乗車する際、先に人が乗っていても、行き先が同じ方向であれば当たり前のように相乗りになります。最初はこれに慣れず、空車にのみ狙いを定めて停めていましたが、これにも慣れ、気にせず乗り込めるようになりました。また、中国でのお酒の席は豪快です。日本では最初の乾杯の後は話をしながら各自のペースで飲むことが多いですが、中国では事あるごとに全員で乾杯し、コップのお酒を全て飲み乾します。文字通り「乾杯」です。これも中国の文化であり、最初は相当辛く感じたこともありましたが、慣れてくると乾杯が楽しみになっている自分がいました。

中国へ赴任するまでに私が有していた中国人像は、なんとなく知っている気でしたものですが、実際に付き合った中国人の皆さんは、情に厚く、何事にも一生懸命で、一緒にいると元気をもらえるような人達ばかりでした。大連にいる間も、帰国後、舞鶴市に戻ってからも、仕事で協力を求めれば、自分のことのように熱心に力を貸してくれます。私が舞鶴市の職員であるからというのが大きく、舞鶴市と大連市が友好都市を締結して35年、これまで先人たちが築いてきた交流の絆の深さを感じる機会にもなりました。私もこの出会いを大切に、末永く友情を深めていきたいと思っています。

### 3. 最後に

今回の外務省への派遣では、未知なる世界をたくさん見せていただきました。これらを経験することで、少しずつ視野が広がり、自分の中での考え方や価値観にも大きな影響を受けました。今回、「知らない世界」へ飛び込む恐さは感じたものの、一歩踏み出すことで「広がる世界」を体感しました。今、このように思えるのも、厳しくも温かくご指導くださった外務本省職員の皆様、初めての海外生活で日々支えていただいた大連領事事務所の皆様、大連で出会った友人たち、外務省に出向させていただくにあたり応援してくださった上司・先輩・同僚、支えてくれた家族のおかげに他ありません。この場をお借りして感謝申し上げます。

この3年間で得た出会い・経験は、私にとってかけがえのない財産となりました。ただの思い出にすることなく、この経験を活かし舞鶴市の発展のため力を尽くしてまいりたいと思います。

## 各種ホームページの紹介

姉妹都市・友好都市のホームページや海外安全情報などのホームページを紹介します。  
いろいろな情報の検索に便利ですので、ぜひご活用ください。

<http://www.nakhodka-city.ru/>

ナホトカ市のホームページです。ナホトカ市の歴史・教育・産業・経済自由区や観光案内などを検索することができます。(ロシア語・一部英語版あり)

<http://www.dl.gov.cn/>

大連市のホームページです。大連市の概要・投資ガイド・観光案内などについて検索することができます。(英語・中国語・日本語版等)

<http://www.portsmouth.gov.uk/>

ポーツマス市のホームページです。観光案内・市役所の仕事などについて検索することができます。(英語版)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

外務省のホームページです。在外公館のニュースや安全情報を検索できます。(日本語・英語版等)

<http://www.city.maizuru.kyoto.jp/>

舞鶴市のホームページです。姉妹・友好都市との交流や市政全般の情報を検索することができます。(多言語自動翻訳システムを導入)

<http://www.npomia.com/>

NPO法人舞鶴国際交流協会のホームページです。在住外国籍市民との交流や支援などを中心に活動を展開しています。

<http://www.port.maizuru.kyoto.jp/>

一般社団法人京都舞鶴港振興会のホームページです。京都舞鶴港の概要や定期航路、クルーズ客船、港湾施設等についての情報が掲載されています。

## 国際交流 2016年

—平成28年国際交流報告書—

2017年(平成29年)3月 印刷

発行 舞鶴市産業振興部みなと振興・国際交流課  
〒625-8555 京都府舞鶴市北吸1044  
TEL 0773-66-1037

印刷 株式会社 モトキ